※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3016

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	数学Ⅰ　Essence　（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ⅰの内容は，中学校で学習した内容をベースに構成されています。中学校で学習したことがより深まり，新たな概念に発展していくため，数学のおもしろさを存分に味わうことができます。

数学を学んでいく上で，基礎的な知識・技能は必須なので，日々の授業の内容を確実に理解し定着できるよう，授業プリントや教科書の基本問題を中心に反復練習してください。

２　学習の到達目標

１．数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
２．数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。
３．数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え，数学的論拠に基づき判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数と式	式の計算	a:二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めている。 b:問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることでできる。 c:数と式について学んだことのよさを認識し活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。	小テスト 定期テスト	ワークシート 定期テスト	ワークシート 振り返りシート
		実数	a:数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則演算をすることができる。 b: 問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることでできる。 c: 数と式について学んだことのよさを認識し活用したり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。	小テスト 定期テスト	ワークシート 定期テスト	ワークシート 振り返りシート
後期		方程式と不等式	a:不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めることができる。 b:不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用することができる。 c:数と式を活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	小テスト 定期テスト	パフォーマンス課題 定期テスト	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度